

会の変化を見据えて、自ら課題を見つつけ、学び、考え、判断して行動・解決する力を育むため、日々の授業の中でプログラミング的思考に繋がる論理的思考を育てることです。スムーズに授業改善がなされるよう「実施までの計画」及び教師等の関係者への「研修」が重要と訴えました。また、スムーズな受動喫煙防止対策の実施について質問しました。

小走 善秀 議員

決算審査特別委員会、弥生の里ホールでの町主催イベントについて確認したところ、平原綾香さんの催しについて、チケット収入396万円に対し、支出715万円赤字約319万円とのこと。税金の使い道として赤字が多過ぎると指摘。

個人ナンバーカードによる印鑑証明の交付が役場ではできなかったが、その改善を求めていたところ本年10月から交付可能になった。昨年大阪での地震、台風等災害について、当町における、通学路の危険箇所が20箇所あるとの事だったが未だに改善は見られず生徒の安全の為早急な改善を教育委員会に申し入れた。

梶木 裕文 議員

ふるさと納税型クラウドファンディングについて周知・広報方法や

今後どのような展開を考えているのか。ブロック塀等撤去補助事業の目的についての2点を一般質問しました。クラウドファンディングについては、町民の皆様から募集したプロジェクトをクラウドファンディングに導入するのはいかがでしょうか。ブロック塀補助金については通学路以外のブロック塀も対象にするべきと質問しました。厚生建設委員会では、生ごみ、草木の処理について候補予定地選定や、周辺自治会への説明の必要性を質し、内容が不十分なことから見直しされることとなりました。

山田 英一 議員

平成30年度水道事業の収支は、3931万円の赤字決算との報告を受けました。その要因として、給水収益が減少したことに加え、県水に100%転換したことによる県水受水費用の増大と中口径石綿セメント管等の老朽管更新費用が主なものと説明がありました。これからの水道事業は広域化や老朽化施設の更新、耐震化対応等将来を見据えた幾多の面で転換期であります。値上げのない安定した水道料金を維持するため、経営の合理化や業務の効率化を益々推進し、安心・安全な水道水の安定供給を長期に渡り継続していただくことを期待します。

寺田 元昭 議員

一般質問において①免許証自主返納ドライバーに対する支援について、②道路の白線の保守について、③田原本駅周辺の再開発事業についての3点を質問しました。①はタワラモトンタクシー利用券を交付していることや認知症講演会での啓発を予定しているとのこと②は町のパトロール状況や補修実績、また国、県、公安委員会等と連携し安全確保に取り組むとのこと③は建設予定の施設には商業・生活サービス施設、子育て支援施設、集会スペース、立体駐車場、約80戸の分譲マンションなどの整備を検討しているとの答弁を得ました。

村上 清司 議員

少子高齢化が進み、労働力人口の更なる減少が見込まれる中で、高齢者に働く機会を提供し、いきがいや健康の維持・増進を図るために、支援が必要と痛切に感じております。老年化のマイナス部分だけでなく、人材不足の解消、組織の活性化、長年の経験に裏打ちされた対応力や説得力等、シニア人材の優れた面を活かす「ジェロントロジー」（健康で幸せな将来を実現する為の老年学的視点）が求められています。本町の

議会だより

令和元年 第3回定例会

発行 田原本町議会
編集 議会編集委員会

議案概要

《報告を受けた案件》

○平成30年度田原本町健全化判断比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく当該年度の健全化判断比率の財務4指標について、実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字で該当せず、また実質公債費比率7.9%（前年度対比0.7ポイント上昇）、将来負担比率76.9%（同3.6ポイント上昇）であり、いずれも早期健全化基準を下回っていることを報告するもの

○平成30年度田原本町資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく当該年度の水道事業会計及び下水道事業会計に関する資金不足は生じておらず、経営健全化基準を下回っていることを報告するもの

《可決・認定した案件》

令和元年田原本町議会「第3回定例会」が9月4日から18日まで15日間の日程で開かれました。本定例会から一般質問に「一問一答方式」を試行導入し、8名の質問者のうち2名が一問一答方式により町政を質しました。

○田原本町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の専決処分の報告（全員賛成）

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の改正に伴い、代替保育の提供に係る連携施設の基準の緩和等の改正を行うもの

○令和元年度田原本町一般会計補正予算（第2号）（賛成多数）

補正予算額7126万3千円の増額で、内容は、総務費で、トイレトラーの整備に係る町債の償還に充てる減債基金積立金、児童見守りシステム構築業務委託料及び町議会議員補欠選挙に必要な経費1163万1千円の増額。民生費で、障害者の生活介護施設新設に伴う社会福祉施設等整備補助金及び介護保険制度改正に伴うシステム改修業務委託料に係る介護保険特別会計繰出金並びに幼児教育・保育無償化に併せた、副食費保護者負担の無

償化などに要する経費（保育所等分）2169万1千円の増額。農林水産業費で、農業基盤対策事業の農地有効活用促進事業補助金増額により、測量設計業務委託・農業基盤整備工事を実施する事業費1300万円の増額。消防費で、災害時のトイレ不足問題軽減を図るトイレトラー購入経費1843万9千円の増額。教育費で、幼児教育・保育無償化に併せた、副食費保護者負担の無償化に要する経費（町立幼稚園分）650万2千円を増額するもの

繰越明許費補正で、防災対策事業及び幼稚園園舎耐震補強等事業で、工期等の関係により翌年度に繰り越すもの。地方債補正で、農業基盤整備促進事業を360万円増額し、トイレトラー整備事業を1590万円追加するもの

議案の訂正 当補正予算のうち、清掃費の学校給食残渣に粉碎した草木を混ぜ合わせ堆肥化させる施設の設置事業予算1256万6千円について、事業内容の精査が十分でないことから削除する訂正を承認しました。

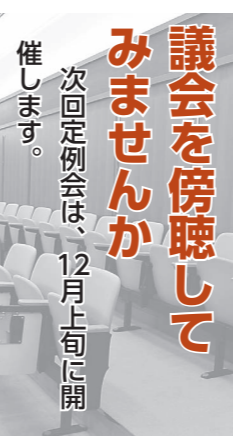
○令和元年度田原本町介護保険特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）

介護保険制度改正に伴うシステム改修業務委託料、平成30年度の介護給付費の精算に伴う国庫・県負担金及び社会保険診療報酬支払基金交付

高齢者の就労支援の現況、そして今後「ジェロントロジー」についての様に考えているのか、本町の方向性と支援策について質問しました。

森井 基容 議員

以下の三点について一般質問をしました。まず、老人クラブに対する補助金の支給対象を拡大する必要から、現行では対象とならない小規模適正クラブ以下の組織に対しても活動意欲の確保のためにも補助対象とするよう質したのに対し、予算措置を含め前向きに検討する旨の答弁を得ました。続いて増え続ける空き家対策の現状と、通学路の安全確保について質しました。多様な角度からの研究と適切な対応が必要と考えます。最後に、森町長の実績を評価した上で、二期目に向けた意欲を質したところ、「引き続き町政に全力投球したい。」旨の答弁を得ました。



問い合わせ先
議会事務局（☎34・2119）

金の返納金並びに地域支援事業交付金の精算に伴う国庫・県補助金及び社会保険診療報酬支払基金交付金の追加交付で666万8千円を増額するもの

○田原本町印鑑条例の一部を改正する条例（全員賛成）

住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令の公布に伴い、印鑑証明に旧氏を記載可能とする等改正を行うもの

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例（全員賛成）

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の公布による地方公務員法等の改正に伴い、関係条例について所要の改正を行うもの

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成）

災害弔慰金の支給等に関する法律及び災害弔慰金の支給等に関する法律施行令

《採択とした意見書》
第3回定例会で採択された意見書は以下のとおりで、関係団体へ提出しました。

意見書	提出議員
高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書（賛成多数）	松本美也子議員

の一部改正に伴う条すれ等に伴い、所要の改正を行うもの

○田原本町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例（全員賛成）

幼児教育・保育の無償化に係る子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴い、利用者負担額（保育料）の無償化など関係条例の改正を行うもの

○田原本町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成）

消費税法及び地方税法の一部改正に伴い、一般廃棄物処理手数料（し尿分）について所要の改正を行うもの

○工業ゾーン周辺道路橋梁下部工事請負契約締結について（全員賛成）
十六面地内の神田川を跨ぐ橋梁の整備に伴う橋梁下部工事を、契約金額8798万4600円で、田原本町、吉村建設株式会社と、工事請負契約を締結するもの

○社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設整備工事請負契約締結について（全員賛成）

本町社会福祉協議会及び埋蔵文化財センター両駐車場の地下に大雨時の雨水を貯留する施設（貯留量計5000立方メートル）の整備工事を、契約金額3億8504万6200円で、



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

植田 昌孝 議長

9月定例会より、審議の活性化、住民の皆様によりわかりやすい議会を目指す議会改革の取り組みの一つとして、一般質問に「一問一答方式」を試行導入いたしました。8名の質問者のうち2名が一問一答方式により質問を行いました。

また、決算審査特別委員会を設置し平成30年度決算について、予算編成方針に沿って適切かつ効率的に執行されたかを審査し承認されました。10月には常任委員会等の役員改選を行い、議会だよりが発行される11月には新たな体制で議会運営に臨んでおりますので、これからも議会活動にご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

安田 喜代一 議員

降った雨を一時的に貯留し流出抑制を図るための雨水貯留施設を社会福祉協議会駐車場（旧中央公民館）

香芝、上村・上香特定建設工事共同企業体と工事請負契約を締結するもの

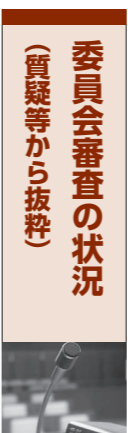
○平成30年度田原本町各会計歳入歳出決算の認定について（賛成多数）
地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定により、監査委員の意見を付けて議会の認定に付すもの

委員7名で構成される決算審査特別委員会を設置し、各会計歳入歳出決算について審査を行いました。（決算の詳細は広報10月号に掲載されています）

《選任とした人事案件》

○教育委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて

氏名 岡本春江氏
任期 令和元年9月22日から
令和5年9月21日



《総務文教委員会》

質問 令和元年度田原本町一般会計補正予算（第2号）について、災害時用のトイレトレーラーとのことであるが、大規模災害時は複数の避難所の開設が想定されるが1台で運用できるのか。

とその東側にある埋蔵文化財センター駐車場に整備する工事（契約金額3億8504万6200円）の請負契約について審査し可決されました。雨水の貯留量は、社会福祉協議会駐車場で3873立方メートル、埋蔵文化財センター駐車場で1127立方メートル、両施設併せて5000立方メートルとなります。雨水は南側の水路から流入・流出させ、自然による流入出とポンプによる流入出を併用させる計画です。過去にも雨水の溢水している地域ですので、その効果を期待しております。

古立 憲昭 議員

厚生建設委員会にて、10月より幼児教育・保育の無償化となり、町独自の子ども・子育ての更なる支援事業についての補正予算を審査。無償化にあわせ、保護者負担となっていた給食費の副食費を無償化、また0歳児・2歳児対象の負担の軽減、第2子の保育料を半額から無償へ。延長保育の午後6時～6時30分までの保育料は町負担とする町独自の支援策に対し、各委員慎重に審議し、全委員賛成。

認定こども園検討特別委員会は、認定こども園平野幼稚園としてスムーズに開園出来る様設置され、本園4月開園され初期の目的を達した

回答 災害派遣トイレネットワークプロジェクトにより本町が被災した場合には他市町村からトイレトレーラーを持ち寄っていただき、また、他市町村が被災した場合は協力する取り組み・運用を行わないトイレ不足の解消を目指したい。

経過報告 「中学校給食の早期実施を求める請願」の経過について、給食施設が7月末に完成し、8月より調理委託業者による試し炊き等を行い、関係者による試食会、落成式典等を経て2学期より実施との報告を受けた。

《厚生建設委員会》

質問 令和元年度田原本町一般会計補正予算（第2号）について、幼稚園・保育園・認定こども園の副食費を町独自で無償化することであるが、本町の住民が町外の施設を利用している場合はどうなるのか。

回答 無償化の対象となり町外関係施設と調整を行なう予定である。

質問 議第30号田原本町印鑑条例の一部を改正する条例について、印鑑証明書に旧氏が記載される改正であるが、旧氏の印鑑でも登録できるのか。

回答 改正後は、旧氏の印鑑でも印鑑登録できる。

西川 六男 議員

多くの町民や保護者の長年の要望であった中学校給食が、9月からやっと実施されました。県下市町村で最後、39番目の実施です。

共働き家庭や母子・父子家庭が増加する中、学童保育でも夏休みなどに昼食を提供する事を、今議会で再度、質問。昨年9月議会では「検討する」との答弁でしたのでその結果を問いましたが、「今後も検討する」との答弁でした。

社会の変化に対応した事業が必要であり、奈良市はすでに実施され、多くの市町村で実施の検討が前向きに進む中で、中学校給食のようにならないよう速やかに実施するように主張しました。

竹邑 利文 議員

待ちに待った中学校給食が県下で本町が最後の実施となった。中学校給食の早期実施を求める請願が平成25年に採択されてから6年弱が経過。「豊かな人間性を育む為の食育を推進する」緊要な課題の基礎が出来た。生徒・保護者の切実な要望に応えることができ、紹介議員として非常に嬉しく思う。

一般質問に於いては○町有地の管

《認定こども園検討特別委員会》

担当課から報告 令和元年9月1日現在の各園の入所状況は、田原本すこやか保育園が定員19人に対し18人、さわやか保育園が定員19人に対し14人、認定こども園平野幼稚園は1号認定が定員150人に対して72人、2号認定が定員30人に対して18人の入所であり、各施設は問題なく運営がなされているとの報告を受けた。

《議会改革特別委員会》

本委員会が、6月議会に「内水氾濫対策」の政策提言を行ったことを受けて、「田原本町議会政策提言実施要綱」(案)を議長に提出をしました。

町議会ホームページを ご覧ください

町議会ホームページでは、町議会のしくみや会議録など議会について情報発信しています。過去の議会だよりも見ることが出来ます。



吉田 容工 議員

一般質問で特別教室にエアコンを設置するよう質しました。子ども「体温調節機能」は未熟で、気温が35℃(体温)を超えると機能しないこと、文部科学省が教室の温度を17℃から28℃にするよう指示を出していることを示し、「理科嫌いを生み出す」と指摘しました。教育長からは「昨年35℃を超えた時があった」「気温の高い時に普通教室へ振替えるのは難しい。」という答弁が返ってきました。しかし、町長は、補助金がかからないので特別教室にエアコンはつけないという答弁に終始されました。「子どもたちの命を守る」という町に変えていきましょ。

松本 美世子 議員

一般質問にて、2020年度から必修となる小学校のプログラミング教育についての環境整備及び教員等の研修について質問。本教育の目的は、プログラミングのスキルを学ぶだけでなく、今後の予測困難な社